

今こそ運河保存の声を

小樽運河を考へる市民集会

小樽運河の保存運動が始ま、29年運河を取りまく情勢もかぎり運河の価値に対する認識は年々深まりを見せています。しかし、今開催されている市議会が最終的に運河の埋め立てが承認されるようにしています。まさに運河問題は最終局面を向かえつつあります。

このような情勢の中、3月15日(月)市広い市民を集めて結成された「小樽運河の市民連絡会議」は市民合意のない運河埋め立てに反対するという一致点で「小樽運河を考へる市民集会」を開催します。長年にわたり運河保存を訴えてきた「小樽運河を守る会」を始め様々な形で運河問題に取り組んでいる市民の数多くの参加で今、一度運河が埋めたてられしめて本当によいのかどうか考へてみようと思います。

当日集会では講演の他に運河紙芝居の上演、運河を考へるスライドの上映、参加者による意見交換

等を予定してあります。また閉会後は提灯を持ち、運河の歌を唱いながら会場から運河まで行進するデモンストレーションも予定してあります。

ぜひ、皆様もご参加下さい。

3月15日(月) 午後6時

小樽市医師会館にて

(入場無料)

主催：小樽運河の市民連絡会議

講演「なぜ運河を守るのか」

小笠原 克 (小樽運河問題を
夫の会 事務局)

